

技術士 2 次試験に合格して



杉本 光祐

(すぎもと こうすけ)

勤務先

株式会社 AIS 北海道

第一技術部

〒060-0807 北海道札幌市北区北 7 条西 1 丁目 1 番 2 号 SE 札幌ビル 4F
TEL 011-707-7555 FAX 011-707-8572

E-mail kohsuke_sugimoto@ais-hokkaido.co.jp

■ 専門：機械部門(材料強度・信頼性)

1. はじめに

私は 1984 年生まれの 36 歳です。6 年前のちょうど 30 歳のときに一次試験の合格記を掲載していただきました。当時の写真と見比べると歳月の流れを感じます。

私は AIS 北海道という会社に所属しています。主に CAE の受託解析をおこなう会社です。CAE とは Computer Aided Engineering の略でして、簡単にいうとコンピューターの中でシミュレーションすることでモノの強度などを評価する仕事になります。主なお客様は自動車メーカーや電機メーカーなどの国内メーカーさんです。今年の 4 月までの 2 年半、愛知県の自動車 OEM 様に常駐して CAE の支援をしていました。単身赴任でしたので家族に苦労を掛けてしまいましたが、とても貴重な経験を積むことができたと感じています。また、道東出身者としては、愛知県の 40 度に迫る灼熱の夏には身体と精神が鍛えられたと思います。北海道に戻るタイミングで技術士になれたことも何か関係があるのかもしれない。

2. 技術士試験について

技術士一次試験の合格祝賀会にて機械部門の先輩技術士の方と会話をして、MC 会に誘っていただきました。MC 会では多くの先輩技術士の方のお話を伺うことができ、技術士への憧れを抱くようになりました。当初はもっと経験を積んでから二次試験に挑戦しようと考えていました。しかし、先輩技術士から受験資格をクリアしているなら挑戦するべき、との助言を受けて翌年に受けました。

受験までは、何を勉強したらよいのかわからない状態で準備をすすめました。試験は、やはりもっと経験を積んでから受けるべきだったと思うくらい難しいものでした。結果はもちろん不合格です。しかし、B 判定など思っていた以上に良い判定になって

いたため、もう少し頑張ればなんとかなると思えました。2 度目の挑戦は 1 度目よりも手応えがあり、結果は合格でした。口頭試験の直前に愛知出張が決まったため、愛知から新幹線で試験会場に向かいました。そのときは、ラッキーだなと気分をよくして会場に向かったことを思い出します。しかし、「あなたは技術士にふさわしくない」と言われているようで全然うまくこたえることができませんでした。結果は不合格でした。帰りの新幹線での記憶がないほどのショックを受けましたが、ここまできたらなんとしても合格したいと思い、3 度目の挑戦を決めました。筆記試験は合格した 2 度目よりもよく書けましたが、思いがけず不合格となりました。2 度目とほぼ同じような内容を論述してしまい、その年によって試験が求めている内容が変わることを考慮していなかったのが不合格の原因だと分析しました。継続研鑽の大切さを教えられたようでした。4 度目の挑戦は仕事が忙しく、ほぼぶっつけ本番でしたがなんとか合格できました。今度こそ絶対に合格したいという意気込みで口頭試験に挑みました。こちらは初めての口頭試験とは打って変わって和やかな雰囲気のまま終了しました。結果は合格。晴れて技術士になることができました。

3. 今後について

技術士試験を通じて、諦めずに粘り強く挑戦すること、まず行動してみるものの大切さを感じました。今後ですが、私の会社には技術士が他にいませんので、技術士の仲間を増やしていけるように活動したいと考えています。最後になりましたが、MC 会の皆様、ご助言いただきありがとうございました。コロナの影響でお会いできるのはいつになるかわかりませんが、直接お礼を伝えられる日が早く来ることを願っています。